

令和2年度第3回  
千葉市社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門分科会  
あんしんケアセンター等運営部会議事録

- 1 日 時 令和3年1月21日(木)～2月1日(月)
- 2 出席者 (委員) 畔上加代子、伊藤雄介、合江みゆき、近藤みつる、雑賀匡史、鮫島真弓、竹川幸夫、太齋寛、恒吉良典、中村真人、西尾孝司、松崎泰子、渡辺尚子、和田浩明(敬称略)(委員14名のうち回答14名)
- (事務局) 富田健康福祉部長、佐藤高齢障害部長、石川地域包括ケア推進課長、高石高齢福祉課長、藤原介護保険管理課長、清田介護保険事業課長、阿部保健師活動推進担当課長、三橋地域包括ケア推進課長補佐、大嶋介護保険事業課長補佐

3 議 題

- (1) 介護予防支援事業等の委託について
- (2) 令和3年度千葉市あんしんケアセンター運営方針(案)について
- (3) 千葉市あんしんケアセンターの指定内容の変更について
- (4) 【非公開】令和3年度千葉市あんしんケアセンターの公募について

4 議事の概要

- (1) 介護予防支援事業等の委託について  
事務局より資料送付し、書面にて質疑応答を行った。
- (2) 令和3年度千葉市あんしんケアセンター運営方針(案)について  
事務局より資料送付し、書面にて質疑応答を行った。
- (3) 千葉市あんしんケアセンターの指定内容の変更について  
事務局より資料送付し、書面にて質疑応答を行った。
- (4) 【非公開】令和3年度千葉市あんしんケアセンターの公募について  
事務局より資料送付し、書面にて質疑応答を行った。

## 5 審議経過

### (1) 議題について意見聴取（令和3年2月1日（月））

	<p>～議題1 介護予防支援事業等の委託について（審議事項）～</p> <p>議題1についての質疑応答</p> <p>議題1に関し、質問等なし。</p> <p>承認者数：14人中14人</p> <p>～議題2 令和3年度千葉市あんしんケアセンター運営方針（案）について（審議事項）～</p> <p>議題2についての質疑応答</p>
近藤委員	<p>高齢者にとっては、身近で頼り、相談できる場所だと思います。</p> <p>設置目的にあるように、担当圏域をしっかりと把握してニーズにあった援助をしてほしいと思います。</p>
恒吉委員	<p>「IV 具体的な事業運営」では「あんしんケアセンターは公益的な機関」とあり、「IX 公正・中立性の確保」では「あんしんケアセンターは公的な機関」とある。どちらが正しいのでしょうか。</p>
石川地域包括ケア推進課長	<p>いずれも公共の利益に資する機関として考えているため、「公的な機関」という表記に統一したいと思います。</p>
西尾委員	<p>III-3-(5)「若年性認知症本人及び家族に対する適切な支援を行う。」という記載について、適切な支援を目指すのは暗黙の前提であること、「適切な」を判断する基準が示しにくいこと、結果的に望ましい状態とならなかったときに「適切」ではなかったとして問題になる可能性があることから、「適切な」を削除した方が良いと考えます。</p>
石川地域包括ケア推進課長	<p>ご指摘のとおり、「適切な」を削除いたします。</p>
西尾委員	<p>IV-4-(3)「会議のテーマとして、在宅医療～」という記載について、「会議のテーマとして、原則として、在宅医療～」と挿入できないでしょうか。</p>

<p>石川地域包括ケア推進課長</p>	<p>昨年改定された国の「在宅医療・介護連携推進事業の手引き v e r . 3」を踏まえ、切れ目のない在宅医療・介護の連携体制を構築するためには、医療と介護に共通する4つの場면을意識して、問題の発見、課題の抽出及び解決策の検討を行う必要があることから、会議のテーマとして掲げました。しかし、会議の実施につきましては、地域ごとの実情や現場の専門職が喫緊の課題と感じていること等に留意する必要があることから、委員のご意見の通り、「原則として」の文言を加えたいと思います。</p>
<p>和田委員</p>	<p>資料2-2のP4~5「地域ケア会議の実施 イ 自立支援を強化するため地域ケア会議」について、ケアプランの点検を個別に行うわけですが、委託された案件を担当するケアマネジャーへの指導はどのくらいの件数ありますか。</p> <p>全体の何%くらいあるのかご教授ください。</p> <p>また、あんしんケアセンターごとに指導方法や内容が異なるとの意見をケアマネ協議会会員から受けるのですが、マニュアル等はあるのでしょうか。</p>
<p>石川地域包括ケア推進課長</p>	<p>「自立支援を強化するための地域ケア会議」は、ケアプラン点検を目的としたものではなく、自立支援・介護予防の観点から多職種で検討を行い、ケアプラン立案時に活用できる知識や地域資源等の情報を得たり、不足する地域資源に気付いたりする中で、高齢者が住み慣れた地域でその人らしい暮らしが継続できるための自立支援に資する取組みを強化することを目指しています。</p> <p>そのため、会議出席者は、あんしんケアセンターの職員、居宅介護支援事業所のケアマネジャー、リハビリ・栄養・歯科・精神保健等の専門職、生活支援コーディネーターのほか、行政職員等の見学者も受け付けており、参加者全員のスキルアップに繋がるものと考えております。</p> <p>令和元年度に検討した事例は30件で、そのうち3件(約10%)が居宅介護支援事業所に委託している事例です。</p> <p>また、介護予防ケアマネジメントの実施方法等につきましては、総合事業を開始した平成29年に「千葉市介護予防ケアマネジメントの手引き」を作成し、令和2年1月に一部改訂すると共に、あんしんケアセンターへの実地指導や居宅介護予防支援事業者への集団指導時に、手引きに沿った適切な運用をお願いしております。</p> <p>あんしんケアセンターによって指導方法や内容が異なるというご指摘につきましては、手引きの内容を基本としていただき、ケアプラン期間などご利用様の状態に応じて判断すべきものは、十分な協議・合意をしていただくよう周知徹底して参ります。</p>

<p>和田委員</p>	<p>P 5 「(3) 多職種連携会議の開催」について、元千葉県医師会在宅医療担当理事、現千葉県医師会地域包括ケア（介護保険）担当理事として、新しくICTを利用しての会議も認め、各あんしんケアセンター単位での開催を目指すとありますが、現在のコロナの状況では安全第一でWebが良いと思いますし、千葉市在宅医療介護連携支援センターのスタッフは優秀で、ICT開催の指導もされているようです。</p> <p>顔の見える連携には直接会って、会議、その後の雑談（名刺交換）が大切ですが、従来通りの現地での開催の目安（コロナ状況）、千葉市としてありますか。</p>
<p>石川地域包括ケア推進課長</p>	<p>多職種連携会議の開催方法につきましては、緊急事態宣言発令中の現在、現地開催はご指摘の通り困難な状況です。従来のような対面・集合での現地開催につきましては、緊急事態宣言解除後の新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた、国及び県の示す感染予防の指針に基づく千葉市の対応方針に従って検討して参ります。また、本事業の実施につきましては、受託者である千葉県医師会及び在宅医療推進連絡協議会と協議を行うほか、企画等の役割を担うあんしんケアセンターと連携して進めて参ります。</p>
<p>和田委員</p>	<p>P 5 「(5) 介護支援専門員に対する支援」について、</p> <p>ケアマネからの困難事例の相談はどのくらいの数があるのでしょうか。</p> <p>保健福祉センター高齢障害支援課とあんしんケアセンターは協同しているとは思いますが、すみわけ（役割分担）はどのようになっているのでしょうか。</p> <p>事例の検討会やケアマネ交流会などの開催頻度はいかがでしょうか。</p>
<p>石川地域包括ケア推進課長</p>	<p>あんしんケアセンターの総合相談実績を見ますと、困難事例を含むケアマネ支援の件数は、平成30年度は1,964件、令和元年度は3,068件、令和2年度は12月末時点で2,830件となっております。</p> <p>また、困難事例に関する高齢障害支援課とあんしんケアセンターの役割分担につきましては、両者が連携して対応することとしておりますが、特に高齢者虐待や成年後見制度等の権利擁護が必要な事例、庁内他課との連携が必要な事例では、高齢障害支援課の対応が必要であると考えます。</p> <p>また、事例検討会やケアマネ交流会の開催頻度は、区単位で年3回程度実施するほか、あんしんケアセンター圏域単位で実施しているところもあります。</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>認知症施策推進大綱に掲げられた施策を「あんしんケアセンター」の事業運営に、より具体的に明記されてよかったですと思います。若年性認知症の方々への認識が深まり支援のネットワークができることを期待したいと思います。</p> <p>また生活支援コーディネーターが認知症地域支援推進員を兼ねることになっていますが、大いに期待したいところです。</p>

	<p>多職種連携会議に会議のテーマとして「在宅医療・介護連携」が特に必要とされる場面にそって会議のテーマを設定したことは、地域生活課題が明確になっていくのではないかと期待したいと思います。</p> <p><b>承認者数：14人中14人</b></p> <p>～議題3 千葉県あんしんケアセンターの指定内容の変更について（審議事項）～</p> <p><b>議題3についての質疑応答</b></p> <p>近藤委員 さつきが丘について、便利にはなるが、交通量、その他危険性はないのでしょうか。その点が気になります。</p> <p>石川地域包括ケア推進課長 バス通りに面した大通り沿いですが、歩道も十分確保されており、センターの入る建物の前に信号や横断歩道があります。移転により、来所者が迷うことのないよう、わかりやすい周知に努めてまいります。</p> <p>松崎部会長 両あんしんケアセンターとも、面積が広くなり面接室の確保ができ、市民への認知も高まるのではないのでしょうか。家賃補助を引き上げられてよかったです。</p> <p><b>承認者数：14人中14人</b></p> <p>～議題4 【非公開】令和3年度千葉県あんしんケアセンターの公募について（審議事項）～</p> <p>・・・非公開議事のため、発言内容は非公開・・・</p> <p><b>承認者数：14人中14人</b></p> <p style="text-align: center;">～ 終 了 ～</p>
--	---

(2) 議事録(案)の送付・意見の回答依頼(令和3年2月12日(金))

(3) 議事録(案)の承認者数：14人中14人 意見なし(令和3年2月16日(火))